



こもれびのいえ 通信

2017年5月1日発行
 NPO法人 こもれびの家
 八女郡広川町一條1065-7
 TEL 0942-53-5511

食中毒の季節 こもれびの家でも早々と食中毒に気を付けて

▽東京都足立区で乳児ボツリヌス症で五ヶ月の男の子が入院、神経症状が出ていて報道された。離乳食として蜂蜜を与えている。症状としては咳、鼻水が出ていて、発症の一ヶ月前から、離乳食として市販のジュースに蜂蜜を混ぜたものを飲ませていた。検査の結果、患者の糞便、保管されていた蜂蜜から、ボツリヌス菌が検出、発症して一ヶ月半後死亡。

▽親は蜂蜜は栄養価も高く、甘いので子供も嫌がらないことから利用しがちだが、ボツリヌス菌の芽胞を死滅させるには一二〇℃四分以上の加熱殺菌が必要。乳児の腸内細菌叢は成人と異なる疾病、弱い子供たちは私たち大人がしっかり知識を持って守らないと悲惨な結果になると思う。大事な子供たちを私たちの手で守りましょう。

乳幼児は栄養価の高い牛乳も腸には慣れていないため、蜂蜜と同じ状態になることがあるようだ。他にも沢山あるのだと思う。

※一歳まではお腹に優しい食べ物を一歳半過ぎてから徐々にいろいろな食べ物に挑戦出来たらいいですね。

★これからの季節、食中毒に用心
 手洗い、うがい、しっかりと加熱したものを食べよう。

花見・・・今年の花、美しかった

▽託児・学童・宅老（デイサービス）も新しい方を迎え、一ヶ月たちお互い慣れてきて、楽しくにぎやかに過ごしている。

★ヨモギ万十、みんなで作りました。こもれびの畑（山下さんから借りている畑、重宝しています）からヨモギを託児、宅老の皆で摘み、柔らかい葉っぱをもぎ、茹で、上新粉と白玉粉を混ぜ、小豆あん（砂糖少な目）を包み、蒸し器で蒸す、宅老の皆さんは昔取った杵柄、体が覚えていて、手際よく早い、おもしろかった。どこでも自分の居場所と役割をチャーンと持っている、認知症にならず、元気に楽しく生活が出来る、と確信する瞬間でもある。

▽四月は桜の花見、藤の花見、弁当持参（この弁当は台所担当のものが腕によりをかけて作る・・・素材は質素、味は最高）外でござを敷いて食べる弁当は確実においしい、握って一時間内のおにぎりを二個三個とほおげる時のほっぺたが落ちそう。みんな気持ちよさそう、「疲れて夜ぐっすり眠れそう。」・・・？

※今年の桜の花は同じ時期にどこも（この時期広川町から宮若市まで移動して感じたこと）満開でここ数年の間に一番美しい桜の花を見せてもらいました。・・・満足。

理事長 毛利 赫子

デイサービスのようすです



タケノコ掘りをしました。



タケノコ大収穫です



こもれびの庭でタケノコの皮むきです



畑でもぎとりをした後よもぎの選別、よもぎまんじゅう作りをしました。



わらび狩り沢山収穫しました

●5月の主な予定 8日菖蒲湯 18日防災訓練 19日料理教室 30日お誕生会

託児のようすです



つつじの花。きれいだな。



藤の花を見に行きました。藤棚の下で集合写真

✧託児の子どもたちの様子✧

- ♡前田さやか・・・只今、お友達と手をつないで散歩に出掛ける練習中です。
- ♡山本なぎさ・・・トイレトレーニングしていますよ。おうちのトイレでうんちでした～と報告あり。
- ♡磯脇あやめ・・・トレーニングパンツになりました。失敗もするけどパンツはきもちいいね。
- ♡杉山ひな・・・一條公民館まで歩いて散歩に出掛けられる様になりました。
- ☆矢川そら・・・お散歩大好き。皆と歩いて出掛けられる日もあと少し。
- ☆上野こうだい・・・宗孝さんの膝の上にそ～っと乗ってにっこり笑顔。
- ♡成清みゆ・・・”はい、どうぞ”とはっきりと言葉が出ていますね。
- ☆渡辺てん・・・自分の前にある物に手を伸ばし一生懸命につかもうと頑張っています。
- ♡小川すすね・・・自由気ままに動きまわっています。少しずつこもれびの家の過ごし方がわかってくれるといいなあー。
- ☆小川いっさ・・・宅老のおばあちゃんと目を合わせにっこりアイコンタクト。笑顔がこぼれています。
- ☆江崎りんたろう・・・「ママー、ママー」と涙もこぼれますがお外に出ると大満足です。



タケノコ掘り。あれ、これなにか。タケノコさんです。

●5月の誕生日

21日 小川 すずね 2歳
30日 前田 さやか 2歳



●新しいお友達

やどみ いおり (2歳) 男の子
やどみ あおい (7ヶ月) 女の子
さなだ ゆづき (2歳) 女の子
ほんじょう りな (2歳) 女の子

●5月のうた



こいのぼり



さくらもち



わらび狩りです。